## 路面電車と都市の未来を考える会 RACDA かわら版図

2010/1



## 犬島一京橋と瀬戸内国際芸術祭

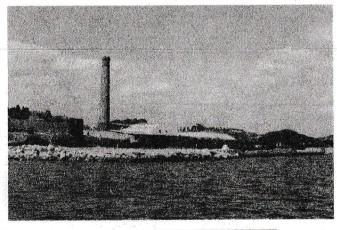
瀬戸内国際芸術祭■7月19日から10月31日まで、岡山市の唯一の離島・犬島や香川県の直島などで「瀬戸内国際芸術祭」が開催される。現代アートをテーマとした祭典で、今後3年ごとに開催される。直島は世界的にも評価され、フランスのミシュランの格付けでも後楽園と並んで★★★になっている。直島へは年間34万人が訪れており、その2割が外国人、ほとんどが岡山駅から宇野線経由で訪れている。

瀬戸内海クルーズ■政府は最近国際観光に力を入れている。年間の外国人観光客を現在の800万人から2000万人にしようと計画している。国際観光は経済成長戦略の一つとなり、「瀬戸内海クルーズ」は目玉である。現代アートの美術館がある直島、犬島など備讃地域が注目されている。

■瀬戸内海クルーズの主要母港は神戸となるだろう。神戸から備讃地域で1泊、広島あたりで1泊、下関あたりで1泊。 大体1週間で瀬戸内を回るというのがモデルルートとなる。 その場合、新岡山港、宇野港からのオプショナルツアーとして、直島犬島の現代アートだけでなく、後楽園や吉備路、倉敷なども重要になってくる。

京橋活性化の必要性闘そこで岡山としてやるべきことは、 岡山から犬島、直島を回遊するルートを形成することである。 地域の観光は回遊性が重要となる。行きと帰りは別の景色を 見たいものだからだ。京橋朝市の開かれている京橋はもとも と港であって、ここから瀬戸内海に向けて航路が走っていた。 小串や出崎にも船が出ていたのだから。昨年から京橋朝市で は「京橋アート村」を開催しているが、これは瀬戸内国際芸 術祭に連動するための企画である。一昨年設立された「瀬戸 内の島々交流協議会」では、京橋から犬島への航路開設を模 索している。岡山京橋から犬島、直島、高松へと抜けるルー トを開拓し、備護瀬戸観光の回遊性を高めようというわけだ。 ■またRACDAが路面電車MOMOを使って行っている 「ワイン電車」「ビアガー電」も、こうした岡山の国際観光時 代を見据えて、「夜のオプショナルツアー」を提供しようとい う企画である。夫婦で楽しめる夜のイベントがあれば、観光 客はその街に宿泊する。楽しい夜を演出することはその街の 魅力を高めるものである。もちろんまずはその街の人々が楽 しんでいることが大前提ではあるが。

旅行者は交通弱者■RACDAは今春NPO法人化をめ ざしているが、路面電車の駅前乗入や環状化、吉備線のLR T化と並ぶ重要な仕事として、観光客向けの情報提供にも重 点を置こうと考えている。なぜなら、観光客は自動車を持た ない、しかも地理に明るくない交通弱者なのである。そうし た観光客にやさしい交通ならば、地元の人々にもやさしいは ずである。観光客をちゃんともてなすことは、我々自身がま ちづくりを考えるきっかけにもなるはずだ。



犬島の精練所跡地の美術館

路面電車と都市の未来を考える会 RACDA 事務局

〒700-0823 岡山市丸の内 1-1-15( 禁酒会館 3F) TEL/FAX 086-232-5502 E-mail racda\_okayama@ybb.ne.jp

